



緑の園



3月号

ヒルトップハイツ



グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより



第81号

令和5年3月1日発行

Who Do We Think We Are/Deep Purple(1973)

啓蟄の候、いよいよ雪解けの季節がやってきました。

まずは、先月の掲載記事の少し追加から…。

先月、当法人に勤務する介護職員の離職率は極端に低く、今年度は1名だけと紹介させていただいたのですが、もう一つ低いものがあります。

紙数の都合から紹介できなかったことですが、実は採用率も随分と低いんです。

今年度新規採用の介護職員は1名だけでした。

遠軽あるあるだともおもいますが、丸瀬布から遠軽の事業所に通うのは距離を感じないらしいのですが、遠軽から丸瀬布に通うことは「そんな遠い、山の中へ何で…」とかなりの距離が離れている感覚みたいです。



たぶんというか、間違いなく丸瀬布から遠軽までの距離と遠軽から丸瀬布までの行帰りの距離は同じだと思いますのでもう一度計りなおしていただきたく存じます。

別な何かで敬遠されているのであれば対処もしよう



思いますのでもう一度計りなおしていただきたく存じます。

別な何かで敬遠されているのであれば対処もしよう



がありますが距離が…。というのは何ともしがたいので勘弁してください。

通勤時間に

関しては2~30分程度の通勤時間は逆に仕事モードのON/OFFにちょうどいい時間であるといっていた職員が何人かおりました。

まあ、法人として「やめない職場づくり」は少しずつではあっても結果が出始めております。

それに加えてこれからは「距離を感じない身近な職場」目指したいと思っております。

紹介が遅れましたが、離職率の低さは特筆もので先月の記事をご覧になられた方々から評価していただきましたことをとてもうれしく思います。



で、今月もどうぞよろしくです。(おばら)



改築移転工事の進捗状況。



3月に入り14カ月間にわたる工期も7割が経過しようとしておりますが、いただいた「工事出来形予定表」では工事全体では5割を少し切るく

らい、ヒルトップハイツに関しては4割くらいの状況だそうです。

何しろ3つの事業所が一つの建物に入るといふことの複雑さをこの工事でつくづく感じます。



雪解けが進む今月下旬から来月にかけて再び工事現場の活気を身近に感じてくるとは思いますが、ここまでくると完成が待ち遠しくなります。



今月もどうぞよろしく
お願いします。



いよいよ暦も3月「弥生」となりました。

で、3月3日は「上巳の節句」（桃の節句）です。

いまさらながらでとてもお恥ずかしいですが、お雛様に飾られているピンクの花は「桃」である。ということをつい最近知りました。（桜だと思っておりました）

人間いくつになっても勉強だな、などとつくづく感じています。



ちなみにですが3月3日の花は「桃の花」。花言葉は「気立てのよさ」だそうです。

お話は先月に戻ります。先月は「節分」にまつわる豆まきをヒルトップハイツ、丸瀬布デイサービスセンター、グリーンプラザで行いました。

「鬼は外!、福は内!」と掛け声勇ましく鬼に向けて豆をぶつけストレスを発散しておられました。

日本の場合鬼は成敗されてしまいますが、成敗された後きちんと祀られているそうです。（「世界鬼学会」によるとこうやって鬼にも敬意を払うのは日本だけで海外には一切みられず、やられっぱなしだそうです。例えばゾンビなんかはやられてばかり…。って、これは違うか?）

「豆まき」は年中行事ですが、うららかな日差しに心地よさを少しずつ感じることが出来る気もして、皆さんにこやかに興じておりました。

さて、新型コロナウイルス感染症に関しては目に見えて感染者数が減ってきている状況です。

当法人に入居されておられる方々につきましても希望される方全員の予防接種が完了いたしました。

北海道に限らず全国的にも、新規感染者数は減少傾向にあり今後もこの状況が継続すると考えられています。

新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけについて基本的対処方針が今年の5月8日から5類に移行されることが政府対策本部で決定されましたが、新型コロナウイルス感染症は「感染力が強いことには変わりはなくお年寄りにとっては変わらず脅威」です。

私たち職員にとっては引き続き今まで同様の感染対策は必要となります。

今後の感染状況にもよりますが今しばらく、ご面会の制限の継続を含め施設で実施しております感染対策の変更はありませんのでご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とはいっても少しずつではありますが光明を感じることができるようになりました。

皆さん、もう少しの辛抱です。がんばりましょう。（おばら）

～編集後記～

今月は3月です。本格的な春の訪れとともに別れの季節でもあります。私がこの職業に就いてから今日までいろいろなこととお世話になった先輩から退職の連絡をうけました。

心から尊敬していた方だったのでとても寂しいです。別れるために人は出会ってしまうんでしょうけどやっぱり別れは残酷ですよ…。と、どうしても思っちゃいます。（おばら）

